

ルーブリック（なぜドライクリーニングに出すか？）

○パフォーマンス課題の内容

水，ヘキサン，塩化ナトリウム，ヨウ素を「極性のある物質・イオンからなる物質」と「極性のない物質」に分類するとともに，それぞれの組み合わせで，物質の溶解性を確認する。この結果を電気陰性度や極性から考察し，「なぜ，衣類をドライクリーニングに出すか？」という日常生活に即した問題に解答する。

達成度 評価の ポイント	評価の観点	レベル3 (十分に満足)	レベル2 (おおむね満足)	レベル1 (努力を要する)	評価の資料
電気陰性度の違いを理解し，適切に物質を分類できたか。	【観察・実験の技能】	観察と追加実験の両方の結果を踏まえて，極性のある物質とない物質を分類することができる。	観察の結果を踏まえて，極性のある物質とない物質を分類することができる。	操作や記録に不備が見られるが，実験に取り組むことができる。	実験プリントの記載事項
極性の有無と実験結果を照らし合わせ，溶解という現象を考察できたか。	【思考・判断・表現】	極性の有無と実験結果を照らし合わせるとともに，既習の内容を根拠として用いながら溶解という現象を考察している。	極性の有無と実験結果を照らし合わせて，溶解という現象を考察している。	考察には至らないが，実験結果に関するコメントを書いている。	実験プリントの記載事項

※レベル1に到達していない場合は，本実験で取り組む内容と物質の極性の関係について，個別の指導等を通して学び直す機会を設ける。